

平成15年12月期

第1四半期業績の概況(連結)

平成15年8月5日

上場会社名

旭硝子株式会社

(コード番号: 5201 東大名札福)

(URL http://www.agc.co.jp)

代表者

代表取締役社長執行役員

石津進也

問合せ先責任者

広報室長

川上真一

TEL: (03) 3218-5408

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結(新規)24社(除外)1社 持分法(新規)1社(除外)3社

連結範囲及び持分法の適用に関する事項 : 有 連結子会社数 236社 持分法適用会社数 41社

公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

## 2. 平成15年12月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

## (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年12月期第1四半期	316,967	-	16,853	-	15,494	-	16,198	-
(参考) 15年3月期	1,295,011		67,475		56,761		3,918	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15年12月期第1四半期	13.80	13.07
(参考) 15年3月期	3.37	-

(注)四半期業績の概況の開示は当第1四半期より実施しております。

## (2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年12月期第1四半期	1,807,148	578,188	32.0	492.58
(参考) 15年3月期	1,786,513	553,835	31.0	471.79

(注)四半期業績の概況の開示は当第1四半期より実施しております。

## 3. 平成15年12月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期(～9月30日)	660,000	36,000	31,000	22,000
通期(～12月31日)	1,220,000	76,000	65,000	42,000

## 〔業績予想に関する補足説明〕

中間期及び通期の予想については、韓国電気硝子社を当第2四半期より連結子会社とすること、並びに欧米のガラス事業が当初予想より低迷していること等から、平成15年5月15日に発表した予想を上記の通り変更しております。

なお、平成15年12月期は決算期変更により9ヶ月決算となります。旭硝子及び現3月期決算の連結子会社の決算期変更による9ヶ月分の業績と、現12月期決算会社の12ヶ月分の業績を連結することとなります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## **[経営成績の進捗に関する定性的情報]**

### **○ガラス事業**

ガラス事業は建築用の板ガラス部門と自動車ガラス部門及び、住宅用外装建材などのその他ガラス部門から構成されます。

板ガラス部門は、ヨーロッパにおいては景気減速の影響を受け販売単価が下落しました。アメリカにおいてはビル用途の需要減少に伴い、販売は低迷しました。アジアにおいては、堅調な需要に支えられ、出荷は好調に推移しました。国内においては、防犯ガラスの販売が大きく伸長しました。

自動車ガラス部門は、ヨーロッパにおいては、需要の減少と新品種追加による品種構成の影響から、収益が低迷しました。アメリカにおいては、自動車の生産及び販売台数が減少した影響を受け、出荷が伸び悩みました。アジアにおいては、中国やタイでの需要が大きく伸長しました。国内においては、特に小型車用途や赤外線カットガラス「クールベール」など高付加価値製品の出荷が堅調でした。

その他ガラス部門では、住宅着工数の低迷の影響を受け、住宅用外装建材事業の出荷が引続き低調に推移しました。

以上の結果、ガラス事業の売上は1,704億円、営業利益は71億円となりました。

### **○電子・ディスプレイ事業**

電子・ディスプレイ事業は、ブラウン管(CRT)用ガラスやフラットパネルディスプレイ(FPD)用ガラス基板を扱うディスプレイ関連部門と電子部材関連部門で構成されています。

CRT用ガラスについては、欧米におけるTV用の低迷とPCモニター用途の構造的減少により、出荷は低調に推移しました。一方、FPD用ガラスについては、前期に引続きTFT液晶用ガラス基板及びPDP(プラズマ・ディスプレイ・パネル)用ガラス基板の販売が増加しました。電子部材関連部門は、携帯電話用の反射カラー液晶やPDP用フリット・ペースト、DVD用光ピックアップ部品などの出荷が好調でした。

以上の結果、電子・ディスプレイ事業の売上高は777億円、営業利益は77億円となりました。

### **○化学事業**

化学事業は苛性ソーダをはじめとするクロール・アルカリ部門と、フッ素系の樹脂や溶剤を中心とするフッ素化学部門、及びウレタン・その他部門から構成されています。

クロール・アルカリ部門については、旺盛な需要に支えられ、東南アジアでの販売が好調でした。

フッ素化学部門については、撥水撥油剤やPDP用光学フィルターなどの販売が極めて好調でしたが、アメリカ、ヨーロッパのPTFE事業は需要が回復せず低迷しました。

ウレタン・その他部門については、リチウムイオン電池材料の販売が極めて好調でした。

以上の結果、化学事業の売上高は659億円、営業利益は19億円となりました。

### **○その他の事業**

その他の事業は、セラミックス事業、物流・金融などのサービス事業から構成されています。

その他の事業の売上高は179億円、営業利益は3億円となりました。

## 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期 別	当第1四半期末 平成15年6月30日現在	前連結会計年度末 平成15年3月31日現在
流動資産		554,951	549,255
現金及び預金		47,811	56,880
受取手形及び売掛債権等		263,284	266,881
たな卸資産		202,513	187,324
その他の流動資産		48,566	45,069
貸倒引当金		7,224	6,900
固定資産		1,251,643	1,236,730
有形固定資産		805,364	798,867
無形固定資産		112,377	111,758
投資有価証券		255,890	241,002
その他の投資		22,346	23,237
その他の固定資産		59,138	65,816
貸倒引当金		3,474	3,951
繰延資産		554	527
資産合計		1,807,148	1,786,513
流動負債		518,150	569,874
支払債務		208,264	221,553
社債及び短期借入金		183,855	245,198
その他の流動負債		126,030	103,122
固定負債		636,335	590,803
社債及び長期借入金		481,057	440,483
その他の固定負債		155,278	150,319
負債合計		1,154,485	1,160,677
少数株主持分		74,474	71,999
資本		578,188	553,835
資本金		90,472	90,472
資本剰余金		84,395	84,395
利益剰余金		412,138	404,817
土地再評価差額金		117	117
その他有価証券評価差額金		21,740	8,912
為替換算調整勘定		29,518	33,752
自己株式		1,157	1,127
負債・少数株主持分・資本合計		1,807,148	1,786,513

## 四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 平成15年 4月 1日 ~ 平成15年 6月30日	前連結会計年度 平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日
売 上 高	316,967	1,295,011
売 上 原 価	244,400	1,000,501
販売費及び一般管理費	55,714	227,034
営 業 利 益	16,853	67,475
営 業 外 収 益	3,911	14,811
受取利息及び配当金	1,291	4,675
持分法による投資利益	1,387	4,234
雑収入	1,232	5,900
営 業 外 費 用	5,270	25,524
支払利息等	3,901	16,635
雑損失	1,368	8,889
経 常 利 益	15,494	56,761
特 別 利 益	14,017	28,937
特 別 損 失	2,556	79,964
税金等調整前四半期(当期)純利益	26,955	5,734
法人税等	8,430	4,152
少数株主損益(減算)	2,326	5,499
四半期(当期)純利益( 損失)	16,198	3,918

## セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（平成15年 4月 1日 ~ 平成15年 6月30日）

（単位：百万円）

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	169,748	77,204	63,441	6,571	316,967	-	316,967
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	625	536	2,448	11,313	14,923	(14,923)	-
計	170,374	77,741	65,889	17,885	331,891	(14,923)	316,967
営業費用	163,282	70,090	64,038	17,572	314,983	(14,869)	300,114
営業利益	7,091	7,651	1,851	313	16,907	(54)	16,853

前連結会計年度（平成14年 4月 1日 ~ 平成15年 3月31日）

（単位：百万円）

	ガラス	電子・ ディスプレイ	化学	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業利益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	705,344	307,799	250,358	31,508	1,295,011	-	1,295,011
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,094	2,085	10,971	37,979	54,131	(54,131)	-
計	708,439	309,884	261,330	69,487	1,349,142	(54,131)	1,295,011
営業費用	670,662	282,324	259,940	68,721	1,281,649	(54,113)	1,227,535
営業利益	37,776	27,559	1,389	766	67,492	(17)	67,475

#### 注1．事業区分の方法

事業区分は、製造方法及び販売市場の類似性に基づいております。

#### 2．各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
ガラス	板ガラス、自動車ガラス、建築用材料等
電子・ディスプレイ	電子部品、ブラウン管用ガラスバルブ、FPD用(液晶、PDP等)ガラス基板等
化学	苛性ソーダ、塩素製品、フッ素樹脂、イオン交換膜等
その他	煉瓦製品等

## 補足資料

### 1. 事業セグメント別業績予想

単位：億円

	平成15年上期		平成15年下期		平成15年12月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	3,500	150	3,000	170	6,500	320
電子・ディスプレイ	1,700	180	1,400	200	3,100	380
化学	1,350	20	950	20	2,300	40
その他	350	10	350	10	700	20
消去	-300	0	-100	0	-400	0
全社合計	6,600	360	5,600	400	12,200	760

(補足説明)

平成15年12月期は決算期変更により9ヶ月決算となります。平成15年下期は旭硝子及び現3月期決算の連結子会社3社の3ヶ月分(10月～12月)の業績と現12月期決算の連結子会社の6ヶ月分(7月～12月)の業績を連結する事となります。

### 2. 為替レート

	平成15年			
	第1四半期		上期	通期
	期中平均	期末	予想	予想
円/ドル	119.00	120.20	119	119
円/ユーロ	128.44	129.83	133	135